

# さくらがわ

市議会  
だより



令和5年2月1日



当市ホームページの  
市議会情報ページへ  
アクセスできます。



磯部桜川公園は、昭和55年から整備が開始され、昭和61年に完成した都市公園であり、園内にはヤマザクラを中心に600本ほどのサクラが植えられており、櫻川磯部稲村神社に続く参道と公園の一部は国指定の名勝・天然記念物にも指定されています。

世阿弥元清の作品である謡曲「桜川」はこの地を題材としており、古くからサクラの名所であったことを物語っています。

令和4年度

## 一般会計補正予算を審議

議案審議…②

審議された議案と結果…④

一般質問…⑤

私のメッセージ…⑩



# 一般議案に対する 議案審議

令和4年第4回定例会は12月13日から16日まで開催され、多岐にわたり審議が行われました。その中から、主な質疑を掲載します。

## 督促手数料廃止

**問** 今回の条例改正で「督促手数料制度」を廃止することだが、その理由と今後の対応方法を説明していただきたい。

**答** 今回の改正は、来年度から全国の自治体において「統一QRコード対応納付書」が導入され、金融機関の収納方法変更に対応するものです。

変更により、延滞金や督促手数料の徴収漏れが発生します。

徴収が漏れた督促手数料100円を徴収するために、それ以上の経費がかかり、納付書再送事務などの業務量の増加や、徴収率の低下などの問題に対応し、徴収事務の効率化や納税者の利便性向上を図ることが改正の理由です。

本税や延滞金を滞納している方に対する督促状の送付は、今後も継続して行い、既に発生している督促手数料については、従来どおりの取り扱いとします。

今後は、市の広報誌やホー

ムページなどにより、周知していきます。

## 水道事業審議会条例

**問** 今までは、審議会委員は21人となっていました。今回の条例改正で、審議会の委員数を10人以内にするということだが、その妥当性について伺う。

また、委員構成は、議員、市職員、受託者代表、学識経験者、市長が必要と認める者という分類をやめべきと考えるが、いかがか。

**答** 桜川市の審議会条例は、水道事業審議会のほか、9件ありますが、委員の定数を定めているのは2件、定数を「以内」としているのは7件です。

定数を10人以内とした理由は、今回の改正にあたり県内自治体にアンケート調査をした結果、桜川市と給水人口が類似する自治体と比較したところ、定数は10人以内が妥当と判断しました。

構成については、適した

人材を選任するために現行条例のまま保持しました。

## 市営住宅管理条例

**問** 今回の条例改正で、連帯保証人のみの記述だったものに、保証業者との保証委託契約の締結を記述するとの説明があった。

家賃保証会社は、全国に約250社あるとのこと、低所得を理由に、保証会社の審査に落とされる人も多くと聞く。公的な家賃保証人制度が必要と思うが、市の考えを伺う。

**答** 今回の改正後、協定を結ぶことを検討している家賃保証業者は、入居者と債務保証の契約を行う際の審査で、低収入であることは基準とせず、収支のバランスで判断します。

滞納による市営住宅の明け渡しについては、納付指導、法的処置の検討、訴訟の提起等の段階を経て、市で行います。

協定を結ぶことを検討している業者は、国土交通省に登録されており、茨城県や笠間市と協定を結んでいる業者です。公的な家賃保証人制度が確立されれば、住宅に困窮する低所得者への住宅供給も充実すると考えます。

## 一般会計補正予算

### ふるさと応援寄附金

**問** 今まで、ふるさと応援基金の寄附者が、少ないとの批判があった。今回、6,000万円も積み立てできたのは、それだけ寄附が多くなったのではないかと推察する。その内容について



市営御領西住宅

**問** 電気料金値上げの実態  
今回の補正予算は、電  
気代の値上げによる補正が  
目立っている。市民の方  
にもよく知ってもらうため  
にも、電気料の補正額の合計  
は何件でいくらかになるのか

また、ふるさと納税のポ  
ータルサイトを、1サイトか  
ら8サイトに増やしたこと  
により、多くの方の目に止  
まり、ふるさと応援寄附金  
の増額に繋がったものと考  
えられます。

増えた要因として、一昨  
年度までは返礼品数が10  
3品しかありませんでした。  
品数を増やすため、市内の  
事業者への説明会や、直接  
事業者へ訪問し、ご協力を  
いただくことができ、現在は  
522品に増やすことがで  
きました。

説明していただきたい。  
答 ふるさと応援基金の12  
月15日時点での実績は、件  
数が4,975件で昨年の  
3・8倍で、寄附金額が8,  
347万6,000円で昨  
年の2・6倍となっていま  
す。

また、岩瀬総合体育館ラ  
スカのLED工事は、スポー  
ツ振興くじtotoの地域  
スポーツ施設整備事業の助  
成を受け、市の負担は、約1,  
800万円を見込んでいま  
す。

また、岩瀬総合体育館ラ  
スカのLED工事は、スポー  
ツ振興くじtotoの地域  
スポーツ施設整備事業の助  
成を受け、市の負担は、約1,  
800万円を見込んでいま  
す。

また12月に総合体育館ラ  
スカでLED工事を実施し  
たが、電気料金はどのくら  
い削減できると見込んでい  
るのか。  
答 電気料の増額は、予算  
科目で20件、総額4,62  
1万2,000円で、当初  
予算の1・4倍になってい  
ます。

年4回（3・6・9・12月）の定例会や臨時  
会の会議録は、開催月の3カ月後にホームペ  
ージにアップされます。

市のホームページから  
市議会の**会議録**が  
閲覧できます



①「桜川市議会」をクリック



②「会議録」をクリック→会議録画面が見られます

**桜川市 会議録** で検索

## 審議された議案と結果 第4回定例会 (12月13日～12月16日)

専決処分	
一般会計補正予算 (第6号)	承認
条例の改正	
手数料徴収条例の特例に関する条例	可決
職員の定年等に関する条例の一部改正	可決
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決
督促手数料廃止に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
市営住宅管理条例の一部改正	可決
水道事業審議会条例の一部改正	可決
体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
その他	
和解及び損害賠償の額を定めることの専決処分事項の報告	報告
和解及び損害賠償の額を定めること	可決
指定管理者の指定	可決
市道路線の廃止	可決
市道路線の認定	可決
補正予算	
一般会計 (第7号)	可決
介護保険特別会計 (第3号)	可決
後期高齢者医療特別会計 (第2号)	可決
下水道事業会計 (第2号)	可決
請願・陳情	
消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書	採択
桜川中学校区・桃山学園統合計画を進めるために行われた保護者アンケート調査が『適正な情報を知った上で平等に校区内住民世帯にも実施』されることを市行政に求める陳情	不採択
議員提出議案	
消費税インボイス制度の実施延期、見直しを求める意見書	可決

# 感謝状

茨城県市議会議長会から感謝状が贈られました。

茨城県市議会議長会 感謝状

小高 友徳

## 加波山市場の経営 状況と今後の運営



菊池伸浩 議員

「クラセル桜川の市長と副市長」の間で契約しています。

**問** 次に、赤字軽減の工夫を伺います。

**問** 当初は社長の辞任などもあり、毎月大きな赤字が出ています。このことは、私も、いいとは思っておりません。

しかし、納品する方、買い物する方からは、存続の声も聞いています。まず、「クラセル桜川社長と副市長間の契約」の説明を願います。

**答** 副市長 「クラセル桜川社長の市長と市長」が契約を結ぶことは、民法が禁じています。そこで、「市長の権限の一部を副市長に委任」して、

「クラセル桜川の市長と副市長」の間で契約しています。

次に、赤字軽減の工夫を伺います。

農産物を納めている方の意見です。加波山市場は、真壁の直売所、大和の直売所と同じ「直売所」という位置づけなのでしょうか、それとも「小さな道の駅」との位置づけなのでしょうか。位置づけが中途半端ではないかとの意見です。

もう一人の方の意見は、真壁、大和ではほとんど売れ残りがないので返品がない。ところが加波山市場は売れ残りが多く、返品が多いとのこと。経営にあたって、市民の声を聞くことが大事だと考えています。



加波山市場

**答**

総合戦略部長

昨年は、代表取締役の無報酬化やパート従業員の削減等を行い、今年は、「入店するための導線」「国道50号の前に案内板」を設置しました。平日の営業時間を「18時から20時」に延長しました。

「加波山市場の位置付け」は、地域商社クラセル桜川の中核的事業です。直売所の機能と、小規模ながらカフェ・トイレなども備えており、休憩所の役割もあります。

指摘された「売れ残り」の課題は、改善に努めてまいります。

## 桜川市の子ども食堂 開設について



市村 香 議員

**問**

厚生労働省によれば、7人に1人の子供が貧困であり

早急な支援と対策が求められている。子ども食堂は、全ての子供に人としての豊かさを提供することができると期待されている。桜川市には一つも開設されていない。開設について市としての支援策を伺う。

**答** 保健福祉部長

子ども食堂は、子供の孤食を減らし健やかに育つ環境を整え、安心できる居場所をつくるのが目的とされ、市としても、未来ある子供たちの健やかな成

長を願うもので、開設される方があれば、大変ありがたく思います。他自治体の支援状況や、開設者との調整等を踏まえ、より良い支援に向けて、共に協議をしながら取り組みたいと考えております。

## 市のリサイクルシステムの現状について

**問**

筑西市は、平日に資源ごみを出

すことができるという。市内の若いお母さん達から、いつでもどこでもすぐに出せるといのが理想だと伺い改善の要望がでてくる。他市との回収方法の違いとリサイクルセンターの設置要望について伺う。

**答**

市民生活部長

桜川市の資源ごみの回収は、市内176か所で毎月1回実施しており、資源ごみの売却収益を回収量に応じて地区に還元し、令和3年度は968万円を分別収集報奨金としてお支払いし、地域での活動にお役立ていただいております。

桜川市と筑西市との資源ごみリサイクルに関する主な違いは、市民が資源ごみを出せる頻度にあると思われる。仮に筑西市と同様の形態でリサイクルステーションを設置した場合、庁舎敷地への出入り制限を含めた資源ごみの盗難対策、回収品目以外のごみの搬入対策、日々の施設管理等幾つかの課題があるものと考えております。

### その他の質問

・高齢者の居場所づくりについて

## 過疎対策における人口減少対策



飯島洋省 議員

### 問

人口減少対策本部の内容と検討状況、実施へのプロセスについて伺う。

### 答

副市長 人口減少対策は、市にとって全庁を挙げて取り組むべき喫緊の最重要課題だと認識し、庁内横断的に関係部長を中心とした対策本部を立ち上げました。「くらし」、「おうち」、「つなげる」、「おもてなし」の4つのプロジェクトチームを設置し、各チームで具体的に検討を重ねています。今後、施策を具体化し、一部施策については令

和5年度から実施したいと考えています。

### 問

少年団の子供たちの才能、努力を育てる、応援する取組を、「人生応援事業」に組み込んでいただきたいが、いかがか。

### 答

副市長 才能ある子供たちを応援していくということは、市民人生応援という趣旨からも大変重要なことだと考えており、助成内容が実態に見合うかなどの確認をした上で、拡充などの見直しについて検討してまいります。

### 小中学校統廃合

### 問

統廃合問題について、大和地区は現在どのような位置づけになっているのか。新設校だけでなく既

存利用しながらの見直しも含めて、迅速な議論が必要であると考えられているか。

### 答

教育部長 小学校は各学年とも1クラスであり、雨引小は令和11年度に複式学級が発生する可能性があるので考慮し、児童生徒数がどのように減少していくのかシミュレーションを行ってまいります。

現在の大和中学校を利用している義務教育学校の設立や桃山学園との統合なども視野に入れているか。

### その他の質問

- ・地域医療を守る医療センターの今後
- ・農業水利施設電気料金高騰支援事業
- ・大和西第3・4機場裏奥の対応状況

## 緊急搬送の体制について



軽部 徹 議員

### 問

救急車は到着したが、なかなか出発しないという話を耳にする。

### 答

保健福祉部長 令和3年度の消防本部統計によると、桜川市内での搬送件数は1,586件であり、年々微増の傾向です。

筑西下妻保健医療圏は、全国335医療圏中316位となっており、人口10万人に対する医師数は全国平均258人、茨城県平均197人に対し、113人と少ない状況となっています。

また、救急車の現場到着から出発までにかかった筑西広域管内の平均滞在時間は20分となっています。

加えて、緊急搬送困難事案と定義されている「救急隊が現場に到着してから30分以上出発できず、かつその間に4回以上医療機関に断られた事案」が、桜川市では57件発生しており、そのうち15歳未満の小児の事案として5件発生しています。

救急医療に限らず、地域医療提供体制を維持するためには、当然ながらその根幹となる医師の確保が最も重要です。

しかしながら、厚生労働省が公表している医師偏在指標により、桜川市を含む

### その他の質問

- ・岩瀬工業団地進入路整備事業について
- ・桜川市役所の勤務状況について

## 生活困窮者支援

### について



武井久司 議員

**問** 物価高騰で、子育てやひとり親世帯の家庭に食料品を無料で配布する事業について、

①近隣の市町村の取り組み状況  
②市内の事業所から食品ロスとして廃棄された量はどの程度あるか  
③食品ロスを減らすための無料配布事業への橋渡し活動・支援について、それぞれ伺う。

**答**

保健福祉部長 近隣で活動している団体は、県西地区で、筑西市、下妻市、常総市、古河市の4団体です。

生ができる機能を備えている。

市内小中学校におけるデジタル教科書による取り組み、対応している教科、指導方法、今後の指導計画について伺う。

**答**

教育長 デジタル教科書は、小学5年生から中学3年生、義務教育学校5年生から9年生を対象に、英語のデジタル教科書が支給され利用しているほか、文化系統の1教科で利用しています。教員の指導レベルは「ICT校内推進教師」等を選任し校内研修や外部委託による指導力の向上に努め、関東地区市町村316自治体のうち、小学校11位、中学校6位です。

### ICT教育について

**問**

パソコンやタブレット端末が2019年から小中高の授業で教科書として扱えるようになった。文字の拡大、読み上げ、タッチペンで書き込み、音声や動画の再

## 上曾トンネルの

### 残土処分について



林悦子 議員

**問** トンネルから出た残土を、「旧桃山中運動場の地盤改良の為、搬出・運搬・埋設する」旨のお知らせが、羽鳥、伊佐々地区に回覧された。

生活道路には、民家の軒下など狭い場所や通学路があり、損傷、表土の流出など、心配する声があるが、大丈夫か。

**答**

建設部長 道路の安全性や近隣への影響を考慮し、大型車両の通行経路を決め、地区や運動場関係者への説明、周知を行いました。

比較すると7億5千万円安くなる予定です。

旧桃山中運動場は、当面、教育財産として管理されるが、土地の資産価値は、瑕疵担保物件になり、下がるのではないかと。総務部長 そのようなことは、考えられないと思います。

**答**

行政主導で設立した団体だが、10年目にして運営の岐路にある。市の支援について伺う。

**答**

教育部長 同クラブは、子供から高齢者までの健康づくりに寄与、市の体育イベントにも積極的にご協力いただいております。今後の運営については、クラブの意に即し、協力、サポートしていきたいと思っております。

### スマイルクラブ（総合型地域スポーツクラブ）について

**問**

行政主導で設立した団体だが、10年目にして運営の岐路にある。市の支援について伺う。

**答**

教育部長 同クラブは、子供から高齢者までの健康づくりに寄与、市の体育イベントにも積極的にご協力いただいております。

今後の運営については、クラブの意に即し、協力、サポートしていきたいと思っております。

女子生徒の制服への  
スラックス導入について



中田拓也 議員

**問**

冬の防寒対策や多様性への配慮が進む昨今、一部の保護者より、女子のスラックス制服の導入を求める声が上がっております。

学生服メーカーの調査によると、女子のスラックス制服は、30年程前から冬場の寒さ対策や自転車通学によいたのが始まりです。桜川市では中学校での制服の選択肢を増やす予定があるか、市の方針を伺います。

**答**

教育長 女子生徒の制服は、本

**答**

教育長 もちろん可能です。男女で異なるジャージの学校が現在も残っています。

兄弟姉妹で着回すことができず、経済的にも保護者に負担があると考えますが、市の見解を伺います。

**答**

教育長 現在、岩瀬西中学校が男女異なるジャージを着用しておりますが、昨年度より生徒会を中心に生徒たちがアンケートを取り、変更に向けて動いています。保護者に向けたアンケートも行っており、保護者、生徒、地域の皆様と合意形成を図りながら進めて参ります。

**その他の質問**

- ・太陽光発電所建設時に原状回復の預託金を徴収する条例の制定について
- ・新市立図書館周辺の整備について
- ・桜川市運動公園のバードゴルフコース拡充について

加波山市場について



川股 隆 議員

**問**

加波山市場は地方自治法第24条の「公の施設」に該当し、条例で定めることが必要である。総務省の公定解釈とされる「逐条地方自治法」では、施設について所有権を持つ必要はなく賃借権、使用貸借権でもよいとされており、誰がどう考えても「公の施設」に該当する。実証店舗であるとか、経営の安定性などは、「公の施設」の要件とは関係がないと考えるがどうか。

**答**

市長 「公の施設」は、安定的

が増えており、道路側溝が未整備な箇所は、計画的な整備を進め、普通河川の整備を含め浸水被害の対策を図っていきます。

**財政収支**

**問**

一昨年は22億円、昨年は基金積み立てを含むと実質的に38億円の黒字であるが、現在の余裕財源（手持ち財源）はいくらか。水路整備など、市民には、予算（お金）がなからできないと、回答しながら、大きな赤字が出てしまう要因を分析しているか。

**答**

総務部長 現在の手持ち財源は14・4億円になります。普通交付税の増収が大きな要因と考えています。3月には基金積み立ての補正予算を計上する予定です。これからの大規模事業を念頭に安定的な財政運営に努めていきます。

**答**

建設部長 近年、短時間の降雨量

**水路の整備**

**問**

道路側溝（水路）は、道路排水を受け入れるためとしていますが、現実には、宅地内排水、合併浄化槽排水も受け入れざるを得ない。区長さんの要望で整備するのではなく、市が積極的に未整備地区の水路を整備すべきではないか。

# 上曾トンネルについて



榎戸和也 議員

## 文書持参の経緯

**問** 12月9日、当初のトンネル建設費123・7億円が143・3億円になると、市は我々議員に報告しました。

トンネル建設については、5年前の市長選挙で、市の事業にしか使えない合併特例債を県の事業に使うことの是非と、自転車の通れるトンネルが本当に115億円できるのか、が争点となりました。要は、15年前の真壁町時代に県が整備するとしていた県道を、何

故市道に変えて市が整備するのかと、それに要する合併特例債の起債額がいくらになるかという問題でした。

あの選挙で市長は、選挙直前の平成29年10月2日に県が市に持参した文書を根拠に、「真壁町の時より1・5m広いトンネルがわずかに5億円増しの115億円までできる」と大々的に喧伝しました。

しかし選挙後、一年経ってトンネルの幅は元に戻り、金額は123・7億円となりました。

市のお金です。幅が元に戻ったのなら「もともと安く」と言うのが普通です。逆に高くなったのに市がこれで話を進めたのはどう考えても変です。これは県の持参文書

の金額が、そもそもあり得ないものだったからです。

そこで、県がこの文書を持参した経緯について伺います。

当時、建設部長は、県が突然来たと私に話した。そこで当時その場にいた現部長に尋ねる。その日、県が来たのは突然か。それとも市が依頼して来たのか。

**答** 建設部長 当時私はグループ長

でしたが、その辺の事情については私も存じておりません。

**問** 市長に問う。市長はそういうものを持ってきてくれる

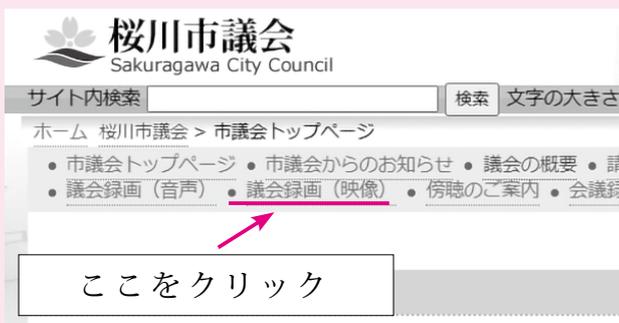
よう県に依頼したのか。  
**答** 市長 一切そういう依頼はしておりません。

123・7億円は、翌年度、地方創生道整備推進交付金採択のため、地域再生計画の認定をうけ、改めて県が計算し直した数字です。

## 市議会ホームページで市議会の映像を視聴できます！

年4回（3・6・9・12月）の定例会や臨時会の議会映像は、市議会ホームページ（Youtube）で配信します。

市議会ホームページの【議会録画（映像）】から視聴できます。



ここをクリック

『桜川市議会』で検索



柴田 久子さん  
桜川市真壁町下小幡

## 地区の仲間と 共に歩む

私は、桜川市の健康推進員として携わりながら、ボランティア団体に所属し様々なボランティア活動をしています。

地区の皆さんと毎日楽しく元気で過ごすには、人生100年時代を迎えた今、まずは健康が一番だと感じています。

そして、地区の皆さんと世代を超えての地域づくりに、私が指導できる健康体操で、怪我や病気の未然防止にもなると考え、「下小幡健康づくりの会」を立ち上げ今年で7年目を迎えます。

この活動は地区の皆さんのご協力により、今では健康体操ばかりでなく、ヤマザクラ号に乗って出かけウォーキングをし季節感を味わっています。

昨秋はバスの旅で、大子方面に出かけ楽しい旅行が出来たこ

とで皆さん、健康である事に感謝の一日でした。

年末の大掃除の後は、毎年、みんなでする輪投げ大会も大盛況のうちに終了しています。

更に、市行政や警察署・消防署に依頼し、AEDの使い方や犯罪防止の研修と、災害時の女性の役割の重要性など多くの勉強をしています。

そして、区長さんを中心に地区全体での信頼関係が築かれ、当初の「体力づくり」という目的以上にいろいろなことに挑戦する会へと進歩しています。

令和2年には、個人で立ち上げた会の地区活動が評価され桜川市で初めて団体として、茨城県知事から「健康いばらき21元気アップ優秀賞」の表彰を受けました。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルスとの闘いは4年目に入り、いまは流行の「第8波」のさなか、3年ぶりの行動制限のない正月となり、寺社は初詣客でにぎわいました。また、一方では、ロシアのウクライナ侵攻による物価高騰が余儀なくされています。一日も早

くウクライナ紛争の終息を願う一人です。

月日が経つのは早く、議員任期も4年が経過し、9月から新たな議会体制になりました。各議員は「新たな気持ちで臨もう」と心しています。「未来にチャレンジ」することは勇気と決意が必要ですが、その気持ちを大切にしていきたいと思っています。本年も宜しくお願い致します。 武井 久司

## 議会広報特別委員会

委員長 菊池伸浩 副委員長 武井久司  
委員 市村 香・飯島洋省  
軽部 徹・中田拓也  
発行責任者 議長 萩原 剛志

次の定例会は

**3月7日(火)**

10時開会予定です。  
議会の傍聴については、感染症対策を実施しております。  
詳細は、ホームページでお知らせします。

## 議会日誌

### 12月

- 7日 総務常任委員会  
文教厚生常任委員会  
建設経済常任委員会
- 9日 議会運営委員会  
議会全員協議会
- 13～16日 第4回定例会
- 14日 総務常任委員会  
文教厚生常任委員会

### 1月

- 17日 議会広報特別委員会
- 19～20日 茨城県市議会議長会  
定例会
- 24日 筑波山地域ジオパーク  
6市議会議員連盟協議会  
研修会